

LCA 国際小学校

学校紹介記事は p. 66 を参照

英語で授業を行う“アクティブイマージョン教育”で「国際人としての日本人」を育てる

LCA 国際小学校は、既存の小学校ではできなかったことを実現していこうとする学校です。

その第一は「国際人を育てる」ということです。LCA は英語で授業を行う学校のため、いわゆるインターナショナルスクールと勘違いをされることがあります。国際人として、海外の人とコミュニケーションをとるためには自国の文化を知り、自国を誇りに思うことが必要です。LCA では欧米と日本を比較する中で、日本を知り、誇りを持つ国際人を育てます。

第二に気持ちのコミュニケーションに力を入れていきます。お互いのどちらが正しいか間違っているかではなく、それぞれに気持ちを表現し合い、気持ちを理解し合うことを大切にしています。それにはご家庭の協力がぜひとも必要になります。

最後に、LCA は子どもたちの現状を見ながら、子どもたちのために良いと思うことを常に提案し続ける学校です。通常の小学校の枠にとどまらず、さまざまな学習、体験を通して子どもたちの成長の後押しをしていきます。

私たち LCA 国際小学校は、子どもたちが充実した生活を送れるよう、次の3つを教育理念としています。

- 将来、社会の一員として、自分の個性を生かして社会に貢献できる人間の育成をめざします。
- 日本語と英語を自由に使いこなし、良好なコミュニケーションをとりながら、世界を舞台に活躍できる人間の育成をめざします。
- 生きることの素晴らしさを知った人間の育成をめざします。

■ LCA の指導の特色

(1) 少人数クラスでの指導

1 クラスを少人数にとどめ、一人ひとりのレベルに合わせたきめ細かい指導をしています。人数の少ないクラスはディスカッションが行いやすく、児童の考える力を引き出すことができます。教師と一人ひとりの児童とのコミュニケーションを大切にし、児童の心の問題にも適切に対処していきます。



(2) チームでの指導

LCA では担任に加えて、教師全体で一人の子どもの指導に関わります。また、各クラスに副担任を配置しています。子どもたちの心のケアも複数の教師が関わることで、幅広い丁寧な対応ができます。

(3) 子どもの心に寄り添う対応

子どもたちがすっきりした心で、毎日楽しく学校に通えることが理想です。



LCA では、特に友だちとトラブルがあったときや何か失敗をしたときなど、子どもたちの心に寄り添い、解決策をともに探ることで、子どもたちに生きる力を身につけてほしいと考えています。

■ 教科指導の方針

LCA の教科指導は文部科学省の学習指導要領に従い行われますが、一方で検定教科書を超えた高い学力の習得も目指しています。能力の高い子にはそのレベルに見合った学習を、また進度の遅い子には個別指導も含めて対応します。これは少人数の学級編成だからできることです。

国際人を育てるバイリンガル教育を進めるため、クラス担任は1年生から5年生まで英語のネイティブスピーカーが務めます。教科指導を含め英語で行う授業は3年生までが約80%、4年生以上が約50%を確保しています。併せて、日本人としてのアイデンティティを育てるために、国語力や日本の歴史・文化を重視した教科指導も行います。

■ 進路指導

昨今の中学入試は「思考型入試」や「AO 入試」そして「英語エッセイ入試」など形式が多様化しています。一方、従来型の「2教科(国語・算数)」「4教科(国算社理)」の受験も残っており、非常に複雑化しています。

LCA ではそれぞれのご家庭の希望に合わせて、通常授業およびアフタースクール、さらに面接やエッセイ対策の個別指導を組み合わせることにより、さまざまな受験に対応できるように授業展開をしています。

また、進路指導室では進学先をご家庭が選定するためのお手伝いをするほか、受験のための勉強面・精神面でのサポートを行います。面接やメールでの相談を随時受け付けているほか、年間でも保護者会やイベント、面談期間などを設け対応しています。